

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |

| |
|--|
| |
| |

(Excellent)

(Very Good)

(Good)

(1)

(2)

(3)

(4)

(1)

(2)

(3)

(4)

(1)

(2)

IT

IT

IT

| 学習の成果 評価項目 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | |
|-------------------------------|--|---|---|--|--|---|----|--------------------|--------------------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 知識・理解 | (1)日本語教育の理論と方法に関する基礎的な知識を得る。 | 外国語科目(◎○) | 外国語科目(◎○) 言語学の理論と方法(○) | 外国語科目(○) | 外国語科目(○) 第二言語学習の心理(○) | 言語心理学(○) | | 日本語教育学 特定研究Ⅰ(◎) | 日本語教育学 特定研究Ⅱ(◎) |
| | (2)日本語・日本文化の教育に関する基本的な理解を得る。 | 外国語科目(◎○) 領域科目(◎○) 平和科目(○) | 外国語科目(◎○) 領域科目(◎○) 平和科目(○) 日本語の構造(○) | 外国語科目(○) 領域科目(○) 日本語の文法(○) 日本語の語彙と意味(○) 比較日本文化学(○) 異文化接触と文化学習(○) 日本語教育課程論(○) | 外国語科目(○) 領域科目(○) 社会言語学(○) 日本文学と文化(○) 日本文化研究(○) 日本語文字・表記研究(△) 日本語教育と文法(○) 日本語の習得と指導(○) | | | 日本語教育学 特定研究Ⅱ(◎) | |
| | (3)日本語教育の現状と課題に関する基本的な理解を得る。 | | | | | | | 日本語教育学 特定研究Ⅰ(◎) | |
| | (4)日本語教育6領域に関する基礎的な知識を得る。 | 領域科目(◎○) パッケージ別科目(○) 日本語教育学基礎論(◎) | 領域科目(◎○) パッケージ別科目(○) | 領域科目(○) | 領域科目(○) | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 能力・技能 | (1)日本語教育の理論と方法について、調査・実験・資料分析を通じて、理解を深める。 | 教養ゼミ(◎) | | | | 語用論(△) | | | |
| | (2)日本語・日本文化の教育について文献・資料・情報に基づき、個別テーマを設定して研究する。 | | | 日本語の表現と論理(○) | | 日本語の変遷(△) 言語の比較と対照研究(△) 日本語位相論(△) 東アジアの中の日本文化(△) 社会文化学(△) 多文化間教育論(△) | | | |
| | (3)日本語教育の現状と課題について文献・資料・情報を収集・整理し、問題を明確化する。 | 教養ゼミ(◎) | | | 学校日本語教育(△) | | | | |
| | (4)日本語教育6領域に関して個別的・専門的に研究する。 | 領域科目(◎○) | 領域科目(◎○) | 領域科目(○) | 領域科目(○) | 日本の近現代文学(△) 近代日本文学史(△) | | | |
| | | | | | | | | | |
| (1)日本語教育の実践に向けて、その方法を構想・立案する。 | 情報科目(○) | | 日本語学習とマルチメディア(○) | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|--|---------|-------------|-----------------|-------------|--------------------|---------|---------|
| 実践的な力 | (2)日本語教育の実践に向けて、その内容を分析・開発する。 | | | 日本語の音声と発音(○) | | | | |
| | (3)日本語教育の実践に向けて、指導案を構想する。 | | | | 学習者言語の研究(△) | | | |
| | (4)日本語教育の実践に向けて、新たな研究を計画し、推進する。 | | 日本語教授法研究(○) | | 日本語技能指導論(△) | | | |
| 総合的な力 | (1)個人、あるいはグループで研究・活動を立案し、効果的に実現する。 | 教養ゼミ(◎) | | | | 第二言語習得論演習(△) | | |
| | (2)個々の研究や教育実践の成果をレポートや論文にまとめ、プレゼンテーションをする。 | 教養ゼミ(◎) | | | | 日本文化学演習(△) | | |
| | (3)コンピュータなどITを用いて、基礎的な情報処理や教材開発をする。 | 情報科目(○) | | | | 日本語教育 海外実習研究(△) | 卒業論文(◎) | 卒業論文(◎) |
| | (4)日本語教育6領域の各領域を相互に関連づけ、日本語教育の諸問題を改善・創造する。 | 教養ゼミ(◎) | | 日本語語彙論・意味論演習(△) | 日本語文法演習(△) | 対照言語学演習(△) | 卒業論文(◎) | 卒業論文(◎) |

(例) 教養科目

専門基礎

専門科目

卒業論文

(◎)必修科目

(○)選択必修科目

(△)選択科目

※ターム科目の区別は、科目名の前に記載する。

第1ターム: 1T

第2ターム: 2T

第3ターム: 3T

第4ターム: 4T

(例)第1ターム開講の科目 → (1T)コミュニケーション1

